

2018年度 早稲田大学大学院文学研究科 入学試験問題  
【修士課程】 専門科目 心理学コース ※回答は別紙（横書）

I. 以下の設問1から15に関して、それぞれ最も適切な選択肢をa)～e)の中から1つ選び、回答欄に記号で答えなさい。

1. 社会心理学の実験や概念とその研究者の組み合わせのうち不適切なものはどれか。

- a) 集団力学 — Lewin, K.
- b) 解釈レベル理論 — Tajfel, H.
- c) ホーソン実験 — Mayo, G. E.
- d) 服従実験 — Milgram, S.
- e) 集団思考 — Stoner, J. A.

2. 社会心理学における援助行動の記述として間違っているものはどれか。

- a) 他者が困窮している場合に他者を助ける行動である。
- b) これまでの実験研究の結果、人格要因と状況要因の相互作用で援助行動の生起頻度が異なることがわかっている。
- c) 援助行動は、必ず利他的な動機によって生起する。
- d) 援助行動は、人間以外の生物においても観察される。
- e) 援助行動は、傍観者の数が多いほど抑制されるという傍観者効果が確認されている。

3. 信頼の解放理論を提唱した人物は、次の人物のうち誰か。

- a) Giddens, A.
- b) 大淵憲一
- c) Luhmann, N.
- d) 山岸俊男
- e) Fiedler, F. E.

4. ある随意行動の結果として環境中の刺激が除去され、それにより将来同じ場面で当該行動の生起頻度が減少することを何と呼ぶか。正しいものを選べ。

- a) 負の強化
- b) 正の罰
- c) 間歇強化
- d) 正の強化
- e) 負の罰

5. Rescorla-Wagner モデルによるブロッキング ( $A+ \rightarrow AX+$ ) の説明として適切なものを選び。  
A, X は条件刺激、+は US が随伴することを示す。
- a)  $AX+$  試行において X が新奇な刺激であるため、A が連合強度を獲得しない。
  - b)  $AX+$  試行において X に対する注意が下がっているため、X が連合強度を獲得しない。
  - c)  $AX+$  試行において全体予測誤差が小さいため、A が連合強度を獲得しない。
  - d)  $AX+$  試行において全体予測誤差が小さいため、X が連合強度を獲得しない。
  - e)  $AX+$  試行において A および X の連合可能性が低くなるため、A も X も連合強度を獲得しない。
6. シナプス伝達における長期増強 (LTP) についての説明として正しいものを選び。
- a) シナプス後細胞で活動電位が生じた直後にシナプス前細胞からの入力が続くことで生じる。
  - b) LTP はウサギの扁桃体において発見された。
  - c) 増強が持続する時間幅によって少なくとも二種類の LTP が存在する。
  - d) シナプス前細胞において NMDA 受容体の細胞膜表面への表出が増加する。
  - e) 学習の神経基盤であると広く考えられているが、現在のところ、学習との因果関係は未だ不明である。
7. 作動記憶及びそのモデルに関する以下の記述で誤っているものを選び。
- a) Baddeley, A. D. の作動記憶における音韻ループは短期記憶にほぼ相当するものである。音韻ループは文字や数字などを音声言語の形態で一時的に保持する機能をもっている。
  - b) 中央実行系は作動記憶全体の制御を司っている。処理資源をそれぞれのサブ・システムに配分したり、サブ・システムに保持されている情報を使って、文の理解や、推論に関する情報処理を行う。
  - c) Baddeley, A. D. は作動記憶が利用できる処理資源の量は増せるとした。例えば数字を保持するためにより多くの処理資源が必要であると判断されれば、その情報処理に必要な処理資源を追加的に増やせると仮定した。
  - d) Baddeley, A. D. は処理が一応済んだ情報、例えば物体の見え、配置、動きなどの視覚的情報を保する機能を視空間スケッチパッドを命名した。
  - e) 情報の保持が処理に影響するという実験結果を説明するために、Baddeley, A. D. は、注意の研究をしていた Kahnemann, D. が提唱した処理資源という観念を使用した。

8. 内的表象はアナログ表象であるとする立場と、分析的表象であるとする2つの考え方が対立してきた。これを一般にイメージ論争というが、この研究およびそれにまつわる研究に関して誤った記述を選べ。

- a) この論争に関わった Paivio, A. は二重符号化理論を提唱した。実験において単語を呈示した場合と、絵を呈示した場合では、単語の呈示の方が再生の成績がよかった。二重符号化理論とは単語の呈示の場合は1つの事象に対して音声言語とイメージという二重の符号化が行われると仮定する理論である。
- b) Pylyshyn, Z. W. は「イメージ=命題」であると説を主張した。イメージは頭の中に貯蔵された未処理の絵のようなものではなく、すでに解釈され構造や意味をもった表象であると仮定した。
- c) Shepard, R. N. と Metzler, J. の実験ではイメージを回転するという操作を加えることによって図形の異同判断課題を達成できるとした。反応時間という指標を使ってイメージ過程を研究することによりそれまでの内観法によるイメージ研究を進展させた。
- d) Kosslyn, S. M. らはイメージの中を走査する際、イメージの中の指定した対象間の距離とイメージ走査時間に相関があることから、イメージ中の空間的広がり主張し、視空間とイメージ空間の特性の類似性を主張した。
- e) Kosslyn, S. M. は命題派の主張も取り入れ、イメージを絵のようなものとして表象されているのではなく、空間的な情報を保存した表象であると変更した。現在では Kosslyn, S. M. の考え方がひろく受け入れられている。

9. 次に示す三つの推論形式で正しい組み合わせはどれか1つ選べ。

推論1：大隈先生は大学へ来るとよく、メールボックスにある郵便物を研究室へ行く前に取っていく。さっき、メールボックスを見たら空だった。ということは、大隈先生は大学へ来ているな。

推論2：いままで観た S.S. 監督の映画はすべて面白かった。来年、また S.S. 監督の作品がでるとのことだけど、この映画も面白いこと間違いのないね。

推論3：彼は今度飼う猫にお手を覚えさせるつもりらしい。それはうまくいかないね。だって、そもそも、猫というのはお手を覚える動物ではない。だから、今度飼う猫もお手を覚えるはずがない。

- a) 演繹、帰納、帰納
- b) 演繹、演繹、帰納
- c) 演繹、演繹、演繹
- d) 帰納、演繹、帰納
- e) 帰納、帰納、演繹

10. DSM-5 に関する次の記述について、正しいものの組み合わせは a)～e)のどれか。

- A. 従前の自閉症スペクトラム障害（自閉スペクトラム症）としてとらえられていたものが広汎性発達障害に変更された。
- B. 物質使用障害において、物質依存と物質乱用という区別は設けないことになった。
- C. 従前採用されていなかった I～V 軸という多軸診断が導入された。
- D. DSM-IV で行動障害に分類されていた注意欠如・多動性障害が、神経発達障害に分類されるようになった。

- a) A B
- b) A C
- c) B C
- d) B D
- e) C D

11. 次の心理検査の対のうち、同じ方式で作成されている組み合わせはどれか。

- a) 矢田部ギルフォード性格検査（YG） — 文章完成法テスト
- b) コーネル・メディカル・インデックス（CMI） — ミネソタ多面的人格目録（MMPI）
- c) バウム・テスト — K-ABC 心理・教育アセスメントバッテリー
- d) 内田クレペリン精神作業検査 — ロールシャッハ・テスト
- e) 絵画欲求不満テスト（PF スタディ） — 顕在性不安検査（MAS）

12. Sutherland, E. H. が分化的接触理論で提示した 9 つの命題に含まれていないものはどれか。

- a) 犯罪行動の学習は、他者との相互作用としてのコミュニケーションの過程でなされる。
- b) 犯罪行動の学習の主要部分は、親密な私的集団の中でなされる。
- c) 犯罪の行動と同様、非犯罪行動も欲求や価値観の表現であるから、欲求や価値観によって犯罪行動を説明することはできない。
- d) 法律違反を好ましいとする定義が好ましくないとする定義を凌いだときに、犯罪者は生まれる。
- e) 最初の犯行によって犯罪者と烙印づけられたことで、自らも否定的な自己観念を強め、再犯に追い込まれる。

1 3. Conrad, R. (1964)は、6文字からなるリストを被験者に提示し、その直後に系列再生を求めた。ひとつの条件では、文字リストは視覚的に提示され(視覚提示条件)、もうひとつの条件では、文字リストは聴覚的に提示された(聴覚提示条件)。提示された文字がどのような文字に誤って再生されたのかについて分析し、混同行列を作成したところ、視覚提示条件と聴覚提示条件ではどのようなデータ・パターンが観察されたのか、正しいものを選択せよ。

- a) 視覚提示条件では、形態的に類似した文字に誤って再生される傾向が高かったが、聴覚提示条件では、音韻的に類似した文字に誤って再生される傾向が高かった。
- b) 視覚提示条件では、音韻的に類似した文字に誤って再生される傾向が高かったが、聴覚提示条件では、形態的に類似した文字に誤って再生される傾向が高かった。
- c) 視覚提示条件でも聴覚提示条件でも、形態的に類似した文字に誤って再生される傾向が高かった。
- d) 視覚提示条件でも聴覚提示条件でも、音韻的に類似した文字に誤って再生される傾向が高かった。
- e) 視覚提示条件でも聴覚提示条件でも、提示された文字は、ランダムに別の文字に誤って再生されることがわかった。

1 4. Collins, A. M., & Quillian M. R. (1969)は、「カナリアは黄色い。」という文と「カナリアは飛べる。」という文の真偽判定に要する反応時間を測定したところ、「カナリアは黄色い。」という文に対する反応時間の方が、「カナリアは飛べる。」という文に対する反応時間よりも短かった。この結果から彼らが導いた結論は次のうちどれか。正しいものを選択せよ。

- a) 人が文を読む速度は、述語の出現頻度に依存する。
- b) 人が文を理解する速度は、イメージし易さの程度に依存する。
- c) 人の意味記憶は階層構造をもつネットワークを構成している。
- d) ある意味カテゴリーに属する事例は、典型性の程度によって順序付けられている。
- e) ある意味カテゴリーに属する事例は、家族的類似性によって結びついている。

1 5. Shepard, R. N. & Metzler, J. (1971)は、被験者に3次元図形の対を提示し、提示された方向と関係なく同じ図形かどうかの判断を求めたところ、水平方向でも、奥行方向でも、2つの図形の回転角度差が増加するにつれて、2つの図形の異同判断に要する時間も直線的に増加することを見出した。この実験結果から得られる知見のうち適切なものはどれか。

- a) 具体的な概念は、抽象的な概念よりもイメージ性が高い。
- b) 人は、現実世界で物を操作するのと同じ方法で、心的イメージを操作する。
- c) 心的イメージは、命題として記憶されている。
- d) 心的イメージを水平方向や奥行方向に回転することは可能だが、複雑な回転は不可能である。
- e) 心的イメージの回転には、認知的な資源を配分する必要がある。

Ⅱ. 以下の設問 1 から 15 の説明や問いに関して、それぞれ最も適切な選択肢を a) ～e) の中から 1 つ選び、回答欄に記号で答えなさい。

1. 一方の測定値(や母数)が与えられた下での他方の測定値(や母数)分布。

- a) 正規分布
- b) 同時分布
- c) 条件付き分布
- d) 確率密度分布
- e) 一様分布

2.  $n \times (n-1) \times \cdots \times 1$  は、 $n$  の何か。

- a) 累乗
- b) 指数乗
- c) 級数
- d) 階乗
- e) 展開

3. ベイズ流で計算される「2 群の平均値に差がある確率」は、どのように評価するのが適切か。

- a) ドメイン知識を利用して確率の高さを評価する。
- b) 99.9%を超えた場合には高い確率であると評価する。
- c) 99%を超えた場合には高い確率であると評価する。
- d) 95%を超えた場合には高い確率であると評価する。
- e) 50%を超えた場合には高い確率であると評価する。

4. クロス表が連関している程度を表す指標。

- a) 収束判定指標
- b) クラメル の 連関係数
- c) 周辺化係数
- d) カイ 2 乗値
- e) 積率相関係数

5. 複数の予測変数の重み付き和による基準変数の予測式。

- a) 単回帰式
- b) 単回帰モデル
- c) 重回帰式
- d) 重回帰モデル
- e) 予測モデル

6. 「2群の平均は等しい」という帰無仮説の有意性検定で有意差がないときの正しい解釈はどれか。

- a) 2群の平均に差がないとは主張できない。
- b) 2群の平均に差がない。
- c) 2群の平均は等しい。
- d) 2群の平均は等質である。
- e) 2群の平均は同じである。

7. 母平均の確信区間と信頼区間の説明で正しいのはどれか。

- a) 確信区間では母平均が分布し、信頼区間では母平均は既知なる固定点である。
- b) 信頼区間では母平均が分布し、確信区間では母平均は既知なる固定点である。
- c) 確信区間では母平均が分布し、信頼区間では母平均は未知なる固定点である。
- d) 信頼区間では母平均が分布し、確信区間では母平均は未知なる固定点である。
- e) どれもでない

8. ベイズの定理が発見された年代はいつか。

- a) 1860 年代
- b) 1850 年代
- c) 1840 年代
- d) 1740 年代
- e) 1730 年代

9. 有意性検定において起きにくさの程度を予め定めた参照確率であり、0.05 が用いられることが多いのはどれか。

- a) 限界水準
- b) 検定力
- c) 棄却水準
- d) 採択水準
- e) 有意水準

10. パス図において因子から観測される変数に引かれた単方向の矢印に付された係数。

- a) 共分散
- b) 重相関係数
- c) 因子負荷
- d) 構造係数
- e) 因子間相関

1 1. 定められた操作に基づいて観測対象に数値を割り当てること。

- a) 算定
- b) 同定
- c) 選定
- d) 測定
- e) 推定

1 2. 水準内の散らばり

- a) 誤差標準偏差
- b) 不偏標準偏差
- c) 自由度
- d) F 値
- e) 平均偏差

1 3. 縦軸と横軸に変数の目盛を配し、観測対象を 2 次元平面上に付置した統計グラフ。

- a) 箱ひげ図
- b) 散布図
- c) ヒストグラム
- d) 度数分布表
- e) 幹葉表示

1 4. 独立した 2 群とは、互いにどのように測定された群か。

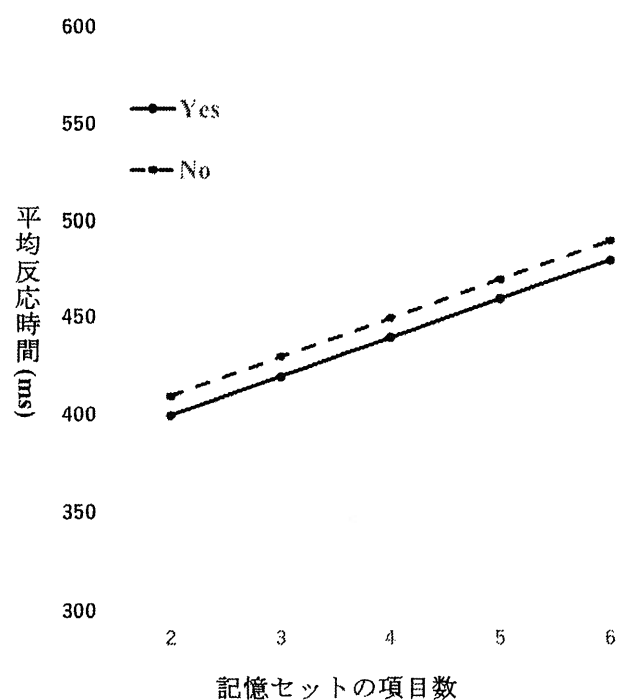
- a) 関連させて測定
- b) 同一個体から測定
- c) 平行に測定
- d) 一致させないように測定
- e) 影響させず測定

1 5. 事後分布から正しく乱数が発生しているか否かを判定するために使用するのは

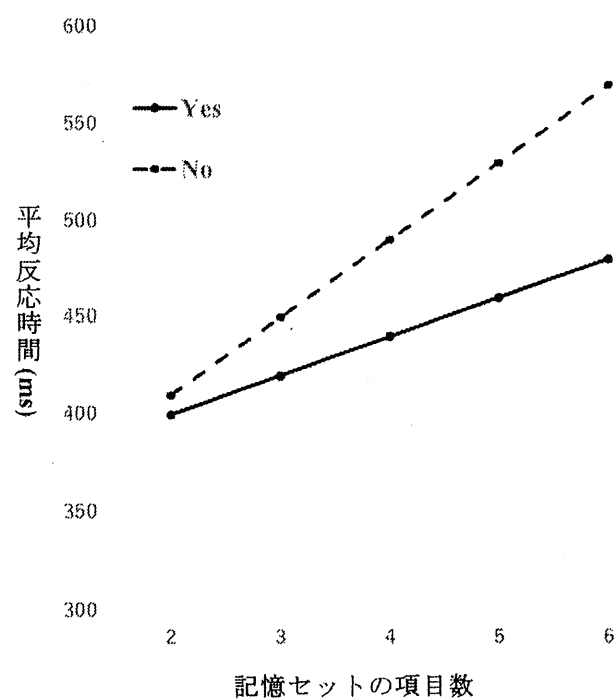
- a) ジニ係数
- b) 収束判定指標
- c) 事後標準偏差
- d) 事後期待値
- e) 事後確率最大値

Ⅲ. 以下の6つの問題から1問を選び、回答欄に文章で答えなさい。

1. Fishbein, M.の多属性態度モデルについて説明をして、消費者行動研究における具体例を記述しなさい。
2. 学習性無力とはどのような実験手続きで示される現象か、またその研究から得られてきた知見がうつ病のメカニズムについてどのような示唆を与えるか、論じなさい。手続きに関しては、一般的に用いられる統制条件についても記述すること。
3. 仮説演繹法について簡単に解説し、仮説演繹法に含まれる論理的問題点を示しなさい。さらに、そのような問題が含まれているにもかかわらずこの方法が科学で使われている理由について言及しなさい。
4. 動機づけ面接法の特徴を記し、さらに、その効用について述べなさい。
5. 予知能力の存在を示したと言われる Bem(2011, JPSP)は以下のような実験を行った。コンピュータ画面に、2つのカーテンの写真が並べて表示され、「一方にはセクシーな写真が隠され、他方にはない。写真のあるカーテンをクリックしなさい」と被験者は教示を受ける。被験者が絵があると感じるカーテンをクリックした後に、乱数によってセクシーな写真の位置を決め、カーテンを開き、正しいかどうかを確認する。これを1試行とする。1560試行の結果、標本比率は0.531であった。母比率0.5を帰無仮説とする2項検定の結果は、 $z=2.3$ ,  $p$  値=0.011 となり、有意差が見出された。あなたがこの論文の査読者ならば、予知能力の存在を主張するこの論文に、どのような判定をするかを論拠と共に述べなさい。
6. Sternberg, S. (1966)は、2～6項目からなる記憶セットを被験者に提示した後、プローブを提示した。被験者はプローブとして提示された項目が記憶セットの中に含まれていたかどうかを判断し、含まれていた場合には「Yes」ボタンを、含まれていなかった場合には「No」ボタンをできるだけ迅速かつ正確に押すよう求められた。下の図aとbは、「Yes」反応と「No」反応の平均反応時間を、記憶セット中の項目数の関数としてプロットした実験結果の予測である。図aとbは、それぞれどのような仕方で記憶項目が検索された場合に予測されることになるのか説明しなさい。



図a. 実験結果の予測1



図b. 実験結果の予測2

(以下余白)

|          |  |
|----------|--|
| 受験<br>番号 |  |
| 氏<br>名   |  |

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

## 心理学コース 回答用紙 No. 1

総 点

|  |
|--|
|  |
|--|

### I. 回答欄

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_ 7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_

9 \_\_\_\_\_ 1 0 \_\_\_\_\_ 1 1 \_\_\_\_\_ 1 2 \_\_\_\_\_

1 3 \_\_\_\_\_ 1 4 \_\_\_\_\_ 1 5 \_\_\_\_\_

|          |  |
|----------|--|
| 受験<br>番号 |  |
| 氏<br>名   |  |

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

## 心理学コース 回答用紙 No. 2

### Ⅱ. 回答欄

(1) \_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_ (4) \_\_\_\_\_

(5) \_\_\_\_\_ (6) \_\_\_\_\_ (7) \_\_\_\_\_ (8) \_\_\_\_\_

(9) \_\_\_\_\_ (10) \_\_\_\_\_ (11) \_\_\_\_\_ (12) \_\_\_\_\_

(13) \_\_\_\_\_ (14) \_\_\_\_\_ (15) \_\_\_\_\_

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 氏名   |  |

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

## 心理学コース 回答用紙 No. 3

### III. 回答欄

選択番号 ( )

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.